



本日はよくお参り下さいました

暑い日々が続いていますがいかがお過ごしですか？空梅雨のような天気が続くと思っていたら、6月29日に梅雨明けの発表がありました。約一か月の梅雨に終わりを告げ、ついに夏が来ました。ワールドカップも日本代表が予選を突破したことで社会全体が明るい雰囲気になりましたね。さて、夏といえばお祭りの季節、天神社の祭礼は8月4日(土)・5日(日)に行われます。祭礼実行委員会も動き出し平成最後の例大祭ということで氏子総代とともに御譲位にちなんだ、ささやかな演出も考えています。氏子崇敬者の皆さま、今年もどうかお力添えを宜しくお願い致します。結びに皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。権禰宜 道子



## 7月

1日・15日 月次祭 (つきなみさい) 皇室の弥栄と国家安泰。氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈ります。

7日七夕(たなばた)

小暑(しょうしょ)

この日から暑気に入り暑中見舞いも出されるようになる。夏至を境にして日足は徐々に詰まってくる。蓮の花が咲き始める時期。



13日～15日 お盆

祖先の霊を家に迎えて供養し送り出す行事。神々や祖霊とともに生きている日本人の原点を見出すことができる。

今年のペリー祭花火大会は7/14(土)です。



16日 海の日

海の恩恵に感謝するとともに海洋国日本の繁栄を願う。

23日 大暑(たいしょ) 夏の季節の最後の二十四節気。一年中で最も気温の高い酷暑の季節。大地が潤って蒸し暑くなり、時々大雨が降る。

## 天神さまの豆知識

— 三浦富士について —

日常的に人々が立ち入りにくい山頂などに奥宮をまつている神社があります。長沢と津久井の間にある三浦富士浅間神社もその一つです。長沢方面と津久井方面から登ることのできる三浦富士の山頂には「浅間神社奥宮」と刻まれた祠(ほこら)が二つ並んでいます。一つは長沢の奥宮・一つは津久井の奥宮です。この二基の祠こそ三浦富士浅間神社そのものなのです。山頂では本家の富士山の山開きにあわせて、七月八日に江戸時代から富士講の先達によるお焚き上げ神事が行われてきました。しかし参拝者の減少により、三年前から中止されています。三浦富士は、古くから漁業や農業を営む人々の厚い信仰が寄せられてきました。残念ながら山頂でのお焚き上げは行われませんが、七月七日の午後に、長沢の入町内会館で行われる宵宮祭で、希望される方におふだをお分かち致します。詳細は天神社社務所までお問い合わせ下さい。

## 今月の言葉

『神事を先にし、  
他事を後にす』

たじ あと

順徳天皇「禁秘抄」より  
きんぴしやう

朝廷では何よりも神事を優先し、他の事はその後にした。宮中の作法では、神事をもっとも重んじて、それ以外のことは後にする。天皇の主な仕事は神々をまつる事であった。それは人々の安全と、豊かさを願うことである。そして神事を優先したのは、神の下にいないことを忘れて手前勝手な政治を行わないように、自らいましめるためでもあった。それは、一般の家でも同じである。朝一番に神棚をまつり、家と心を清め、きれいな気持ちで一日の仕事を始めていた。日本人が清潔だと言われてきた所以である。順徳天皇(一九七一―二〇二)鎌倉時代初めの天皇。古典や宮廷の伝統に詳しく。参考文獻 『神道のことば』武光 誠監修 (株)河出書房新社発行